

## 議事録

役員会（2006年5月25日）

5月25日（木）、岡村会長主催の下、平田相談役他の役員参加により、在京飯田高校同窓会「役員会」を開催（於；アルカディア市ヶ谷）いたしました。  
付議事項および論議は次のとおりでした。

### 1. 飯田高校同窓会役員会(本部)宛「提言」に関する件

去る4月22日（土）開催の飯田高校同窓会役員会の際、東京支部（在京飯田高校同窓会）として「提言」を提出いたしました。従いまして、本件、当該提言に関するものです。

「提言」の概略は次のとおりです。

- ・同窓会の運営方法について、これまでとおりで良いのか
- ・活動において、原点に戻り「何を目指し、どの様な活動をしたら良いのか」
- ・本部組織に遠隔地支部も参加した組織とし、活動範囲を拡げたらどうか等々を「共に考えませんか」と言うものです。

これに対し、同窓会役員会の席上において、長坂会長のご挨拶で、本提言に対し「何等かの対応を考えたい」旨明言されました。

<注>因みに、本部所有の東京支部名簿は、フロッピーで渡されたことから、今後、善良な管理者の意識の下、東京支部事務局で管理してまいります。

そこで、当該支部としては提言した以上、これを更に進める為、次に何をするか論議をしたものです。

その論議の内容および当面の対応は次のとおりとなりました。

\* 先ず、同窓会の目的は、会則の第2条「本会は、会員相互の親睦を図り、併せて母校との関係を密接にし、その発展に寄与することを目的とする」とあります。

これまでの在飯田地区の会員の方々のご尽力は大変なものがあつたことと感謝の念は大きいものがあります。

しかしながら一方では、多くの支部を傘下にもつ同窓会でありながら、これ等支部を含めた体制が不備であり、その為本部と支部間のコミュニケーションが不十分であり、会員相互の親睦と一体感等が希薄ではなかったと考えられます。

従って、コミュニケーションの輪を拡げ、パイプを太く／円滑にすれば、支部としてもつと協力／貢献できることがあるはずであると考えられます。

\* そこで、

1) 組織体制を見直し、遠隔地支部の者も本部役員等に参加し、意見交換が出来るようにしたい。

2) 機会を得て本部役員等と共に「同窓会の在り方についての検討の場」を作って、具体的に論議する。

等々を、再度提案し、実現に向って活動していくとの結論になりました。

## 2. 南信高等学校同窓会東京連合会への参画の件

本件、連合会からの呼び掛けにより、在京飯田高校同窓会としては、会長をはじめ一部の有志が参画してきたもの。

今般、連合会から組織として加入を強く要請されたことから、在京飯田高校同窓会の「総意として参画するか否か」について役員会に問うとの諮問に対する論議でした。

\* 論議の結果、頑なに参加を断るのではなく、近所付き合い程度の意味合いで参加していくことといたしました。

以 上 <文責：佐々木康夫事務局長>